

基本情報

学科名 講座名 (研究室名)

情報工学専攻 知能工学

教員構成 職名・氏名 (松岡 真如)

(特) 現在の研究テーマ、研究内容

1. キーワード

2. 研究テーマ

研究内容

(鑑) 研究活動[欧文は原文で記入する。]

1. 口頭発表

●国際会議

19th Annual Meeting of Asia Oceania Geoscience Society (AOGS2022) (202208) ハワイ (オンライン) “Analysis of Shadow Effect on Intra-daily Reflectance of Himawari-8/AHI Using LiDAR Point Cloud” Masayuki MATSUOKA, Hiroki YOSHIOKA, Kenta OBATA, Kazuhito ICHII

●国内学会

日本写真測量学会令和4年度秋季学術講演会 (202211) 佐賀市 “Himawari-8/AHI のオルソ補正” 松岡 真如, 吉岡 博貴, 市井 和仁

日本写真測量学会令和4年度秋季学術講演会 (202211) 佐賀市 “SfM と SLAM を組み合わせた屋外における移動経路の記録” 新田蓮, 松岡真如

日本リモートセンシング学会 第73回 (令和4年度秋季) 学術講演会 (202211) 津市 “サポートベクターマシンを用いた Sentinel-2/MSI における スギとヒノキの判別” 花井陽一・松岡真如

日本リモートセンシング学会 第73回 (令和4年度秋季) 学術講演会 (202211) 津市 “航空機ハイパースペクトルデータによる水稻の葉面積指数と SPAD 値の推定” 佐藤優気・松岡真如

日本リモートセンシング学会 第73回(令和4年度秋季)学術講演会(202211) 津市 “静止気象衛星観測網を用いた超高頻度陸面モニタリングに向けて” 市井和仁・山本雄平・楊偉・樋口篤志・吉岡博貴・松岡真如・小畑建太・山本浩万

日本リモートセンシング学会 第73回(令和4年度秋季)学術講演会(202211) 津市 “静止軌道衛星データのオルソ補正:Himawari-8/AHI の例” 松岡真如・吉岡博貴・市井和仁

日本リモートセンシング学会 第73回(令和4年度秋季)学術講演会(202211) 津市 “Estimation and evaluation of surface reflectance of Himawari-8/AHI” Wei Li, Beichen Zhang, Yuhei Yamamoto, Wei Yang, Hiroki Yoshioka, Masayuki Matsuoka, Kazuhito Ichii

日本リモートセンシング学会 第73回(令和4年度秋季)学術講演会(202211) 津市 “Evaluation of Himawari-8/AHI surface reflectance using LEO sensors with off-nadir observation mode for terrestrial monitoring applications” Beichen Zhang, Wei Li, Yuhei Yamamoto, Wei Yang, Hiroki Yoshioka, Masayuki Matsuoka, Kazuhito Ichii

●その他

(公社)日本技術士会森林部会オンライン講演会(202212) オンライン(東京) “森林・林業における地理空間情報の活用 —リモートセンシングとGNSSを中心に—” 松岡真如

2. 著書

“リモートセンシング事典” 丸善出版(202212) p.2 松岡 真如 編集委員:外岡秀行・沖一雄・小林秀樹・田殿武雄・中島 孝・堀 雅裕・松永恒雄・山野博哉・山之口勤・山本浩万(共著)

3. 学術論文

●原著論文(査読のあるもの。)

●国際会議のProceedings

●総説, 解説等

●その他

“Land cover classification in a era of big and open data: Optimizing localized implementation and training data selection to improve mapping outcomes” 松岡真如 写真測量とリモートセンシング [61, pp.90~91 (202205)]

“リモートセンシング事典” 松岡真如 写真測量とリモートセンシング [62, pp.45~46 (202303)]

4. その他の研究成果（作品，設計，発明・特許）

5. 学会賞等

6. 新聞記事等

(企) 研究費関係

1. 文部科学省科学研究費

科学研究費（基盤研究（C）） 「森林の三次元構造を用いて、衛星で観測された反射率から影を除去する方法の開発」 （代表・松岡 真如・工学研究科・継続・21K05669）

科学研究費（基盤研究（S）） 「第三世代静止気象衛星群による全球高頻度観測は陸域生態環境理解に何をもたらすか？」 （分担，市井 和仁・継続・22H05004）

科学研究費（挑戦的研究（開拓）） 「逆算アルゴリズム等価性による大規模衛星観測網の高精度化：新パラダイムの創成と実証」 （分担，吉岡 博貴・継続・20K20487）

2. 省庁・財団からの基金

3. 民間等の共同研究・受託研究

4. 奨学寄附金

(協) 国際交流

●海外出張・研修

●海外大学等での講演など

●外国人研究者の受入れ

●外国人研究者の訪問

●外国人留学生の受入れ

●外国人との共同研究

(傍) その他

●他大学等公的機関との共同研究

●大学内での共同研究

個人資料

松岡 真如

●所属学協会及び役員・委員等

日本写真測量学会・文献抄録委員会・文献抄録委員 (2022～2022)

日本写真測量学会・評議員・評議員 (2022～2022)

保健管理センター運営委員会 (2022～2022)

自己点検評価委員会 (2022～2022)

●国内・国際会議等の役員・委員等

●官公庁・民間団体等の委員等

●その他

一般社団法人 日本リモートセンシング学会学術講演会実行委員 委員 (2022～2022)

日本テクノセンター セミナー講師 委員 セミナー講師 (2022～2022)

基本情報

学科名 講座名 (研究室名)

データサイエンス教育センター

教員構成 職名・氏名 (奥原 俊)

I. 現在の研究テーマ、研究内容

1. キーワード

マルチエージェント, 人工知能, 教育工学

2. 研究テーマ

研究内容

II. 研究活動[欧文は原文で記入する。]

1. 口頭発表

●国際会議

●国内学会

第 47 回 教育システム情報学会全国大会 (202208) 新潟 “ミニレポートの提出日を比較した学習解析” 田中 雅章, 奥原 俊, 田村禎章

●その他

2. 著書

3. 学術論文

●原著論文 (査読のあるもの。)

“Investigating shame and selfishness in two-stage choice problems with interdependent alternatives” Shun Okuhara/Rafik Hadfi/Takayuki Ito Journal of intelligent informatics and

smart technology [7 卷, pp.21~25 (2023)]

“Group Work Using Active Learning: A Comparison of Students' Evaluations of Face-to-Face and Online Lessons” Ryo Sugawara, Shun Okuhara International Journal of Virtual and Personal Learning Environments (IJVPLE) [7, pp.44947~45037 (202204)]

●国際会議の Proceedings

●総説, 解説等

●その他

4. その他の研究成果 (作品, 設計, 発明・特許)

5. 学会賞等

第7回国際ICT利用研究学会全国大会奨励研究賞(Paper Award) (第7回国際ICT利用研究学会) “スマートフォン用学習支援ポータルアプリの学習支援機能の実装” 奥原 俊
ワークショップ「c新AI言語処理ツール GPT-3 と社会システムデザイン」 (京都大学サマーデザインスクール実行委員会) “ワークショップ「c新AI言語処理ツール GPT-3 と社会システムデザイン” 奥原 俊

6. 新聞記事等

III. 研究費関係

1. 文部科学省科学研究費

科学研究費 (基盤研究 (A)) 「複雑な交渉環境におけるマルチエージェントの創造的な合意形成アルゴリズムの実現」 (分担, 伊藤孝行・新規・22H00533) 350 (千円)

科学研究費 (基盤研究 (C)) 「学習者個別の特性と学習状況から学習支援を個別最適化する対話エージェントの開発」 (分担, 廣瀬伸行・新規・22K12325) 100 (千円)

科学研究費 (基盤研究 (C)) 「適性処遇交互作用を応用した人工知能に支援されたeラーニングシステムの開発」 (分担, 菅原良・新規・22K02838) 200 (千円)

科学研究費 (基盤研究 (C)) 「大学横断型の学修相談データ活用基盤の構築による情報教育カリキュラムの改善」 (分担, 森本尚之・新規・22K12312) 100 (千円)

科学研究費 (基盤研究 (C)) 「対話エージェントに基づくオンライン議論に関する学習支援システムの実現」 (代表・奥原 俊・情報教育・研究機構・継続・21K12154) 1,820 (千円)

2. 省庁・財団からの基金

3. 民間等の共同研究・受託研究

4. 奨学寄附金

国立大学法人三重大学・270（千円）

公益財団法人電気通信普及財団・2,400（千円）

IV. 国際交流

●海外出張・研修

奥原 俊・カナダ オタワ市（20221027～20221108） 在外研究

●海外大学等での講演など

●外国人研究者の受入れ

●外国人研究者の訪問

●外国人留学生の受入れ

●外国人との共同研究

V. その他

●他大学等公的機関との共同研究

●大学内での共同研究

個人資料

奥原 俊

●所属学協会及び役員・委員等

日本ロボット学会・事業計画委員会（2022～2023）

情報教育専門委員会 (2022～2023)

仕様策定委員会 (2022～2023)

●国内・国際会議等の役員・委員等

●官公庁・民間団体等の委員等

●その他

一般社団法人 日本ロボット学会 (秘匿の要不要が未選択であるため、表示できません) 委員 委員 (2022～2023)